

施工説明書

大便器自動洗浄システム

オートフラッシュ C 操作部

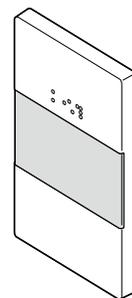
(センサースイッチ / タッチスイッチ)

■ 操作部

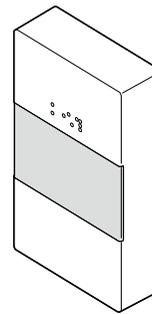
OKC-8型

センサースイッチ / タッチスイッチ

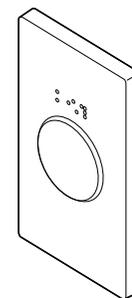
※無線タイプは、クイックタンク式自動洗浄ユニットの併設用スイッチ(2台目)として、組み合わせて使用することができます。



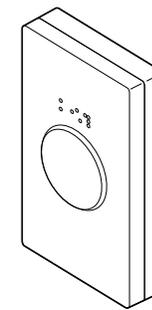
センサースイッチ (有線)
OKC-8SY



センサースイッチ (無線)
OKC-8SM



タッチスイッチ (有線)
OKC-8BY



タッチスイッチ (無線)
OKC-8BML

このたびは当社商品をお買い求めいただき、誠にありがとうございました。

- この商品は、オートフラッシュCセパレート形自動フラッシュバルブ (別売)、クイックタンク (別売) と組み合わせて使用します(クイックタンク式は、無線タイプのみ組み合わせることができます)。この施工説明書とオートフラッシュCセパレート形自動フラッシュバルブ、リモコン便器洗浄ユニット(CWA-277型、CWA-278型)の施工説明書を合わせて、よくお読みのうえ正しく本商品を施工してください。
- 施工後は必ず試運転を行ってください。
- お客さまに必ず本書をお渡しください。お渡しするときは、使用方法をご説明ください。

商品・施工方法についてのお問い合わせは、お客さま相談センターまで ナビダイヤル TEL 0570-017-173

受付時間 平日 9:00 ~ 18:00 土・日・祝日 9:00 ~ 17:00 (ゴールデンウィーク・夏期・年末年始の休みは除く)

安全上の注意 (必ずお守りください。)

- 施工前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 施工完了後、正常に作動することを確認するとともに、お客さまに使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
- この施工説明書はお客さまで保管頂くよう依頼してください。

用語および記号の説明



警告

「この表示の欄の内容を無視して取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」



注意

「この表示の欄の内容を無視して取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害*のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」



禁止

この表示は、してはいけない「禁止」の記号です。



指示実行

この表示は、必ず実行していただく「強制」の記号です。

*物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。



警告



水場使用禁止

バスルームなど湿気が多い場所には設置しないでください。
※感電・火災の原因になります。



水かけ禁止

水や洗剤（特にサンポールやドメスト）をかけないでください。
※感電・火災や外観劣化の原因になります。



分解禁止

修理技術者以外の方は絶対に分解したり、修理、改造を行わないでください。
※故障・感電・火災の原因になります。



ぬれ手禁止

ぬれた手でコネクタにさわらないでください。
※感電の原因になります。



禁止

中継ケーブルをはさんだり、キズ付けたりしないでください。
※故障・感電の原因になります。

交流100V以外では使用しないでください。
※火災の原因になります。

中継ケーブルの加工(切断・継ぎ足し)は行わないでください。
※感電・火災の原因になります。



注意



禁止

強い力や衝撃を与えないでください。
※故障の原因になります。



指示実行

新築・改修工事後や、水道断水の復旧後は、必ず配管内の空気を抜いてください。

※配管内に空気が混入した状態で給水器具を使用すると、器具・配管の破損や故障の原因となり、ケガをしたり漏水によって建物、家財などをぬらす財産損害発生の恐れがあります。

無線タイプのスイッチについて

●使用上の注意事項

この機器の仕様周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- 1.この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 2.万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、裏表紙に記載のお客さま相談センターにご連絡いただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
- 3.その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、裏表紙に記載のお客さま相談センターにお問い合わせください。

●機器認定

本機内蔵の無線装置は、電波法に基づく小電力データ通信の無線設備として認証を受けています。したがって本製品を使用するときに無線局の免許は不要です。ただし、本機に以下の行為を行うと法律で罰せられることがあります。

- ・本機内蔵の無線装置を分解/改造する。
- ・本機内蔵の無線装置に貼られている証明ラベルをはがす。

●使用制限

日本国内でのみ使用できます。

●電波を使う機器から離す

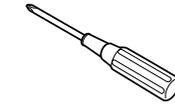
電波の干渉による悪影響を予防するため、次の機器からはできるだけ離してください。

- ・電子レンジ。
- ・無線LAN機器
- ・Bluetooth®対応機器
- ・その他2.4GHz帯の電波を使用する機器の近く（デジタルコードレス電話機、ワイヤレスオーディオ機器、ゲーム機、パソコン周辺機器など）
- ・埋込型除細動器（心臓ペースメーカー）を装着されている方は、埋込部位の22cm以内にスイッチを近づけないでください。

仕様

タイプ	有線タイプ		無線タイプ	
	タッチスイッチ	センサースイッチ	タッチスイッチ	センサースイッチ
品番	OKC-8BY	OKC-8SY	OKC-8BML	OKC-8SM
外観寸法	幅70mm×奥行10.5mm×高さ120mm		幅70mm×奥行25mm×高さ120mm	
電源	AC100V 50/60Hz (自動フラッシュバルブ側に接続)		発電式 (電源・電池不要)	単3アルカリ乾電池：2本
電池寿命	—		—	月2,000回使用で約5年 (月4,000回使用で約4年)
中継ケーブル長さ	5m		—	
手かざし感知距離	—	60mm固定 (グレー紙80mm角の場合)	—	60mm固定 (グレー紙80mm角の場合)
手かざし感知時間	—	1秒、2秒に設定可能 (出荷時1秒)	—	1秒、2秒に設定可能 (出荷時1秒)

準備工具



プラスドライバー



プラスチックハンマー
厚さ5mm以上の合板壁の場合は
必要ありません



六角キーレンチ
(対面：1.5mm)



精密ドライバー (—)

取り付け前に

商品をダンボール箱から取り出す際、操作部の配線が箱に引っかからないように注意してください。※断線の原因になります。

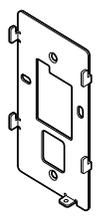
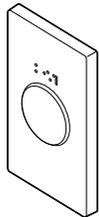
1. 部品の確認

次の部品があることを確認してください。

タッチスイッチ (有線)

有線タッチスイッチ

バックハンガー



クランプ 皿小ネジ (2本) ビスアンカーセット



プラスチック アンカー (2本) 木ねじ (2本)

中継ケーブル (5m)

盗難防止ビスセット



ワッシャー付 六角穴ねじ (M2×6) ナット (M2 2種)

施工説明書

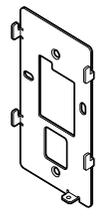
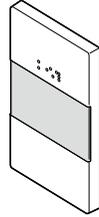
操作説明シール



センサースイッチ (有線)

有線センサースイッチ

バックハンガー



クランプ 皿小ネジ (2本) ビスアンカーセット



プラスチック アンカー (2本) 木ねじ (2本)

中継ケーブル (5m)

盗難防止ビスセット



ワッシャー付 六角穴ねじ (M2×6) ナット (M2 2種)

施工説明書

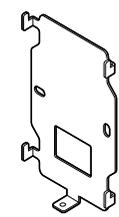
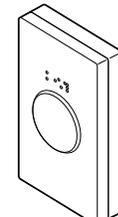
操作説明シール



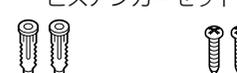
タッチスイッチ (無線)

無線タッチスイッチ

リモコンブラケット

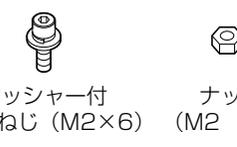


ビスアンカーセット



プラスチック アンカー (2本) 木ねじ (2本)

盗難防止ビスセット



ワッシャー付 六角穴ねじ (M2×6) ナット (M2 2種)

施工説明書

操作説明シール

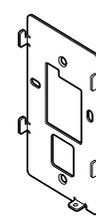
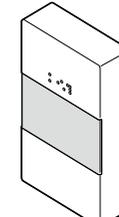
ペアリング用注意書



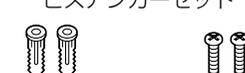
センサースイッチ (無線)

無線センサースイッチ

バックハンガー



ビスアンカーセット



プラスチック アンカー (2本) 木ねじ (2本)

単3電池 (2本)

盗難防止ビスセット



ワッシャー付 六角穴ねじ (M2×6) ナット (M2 2種)

施工説明書

操作説明シール

ペアリング用注意書



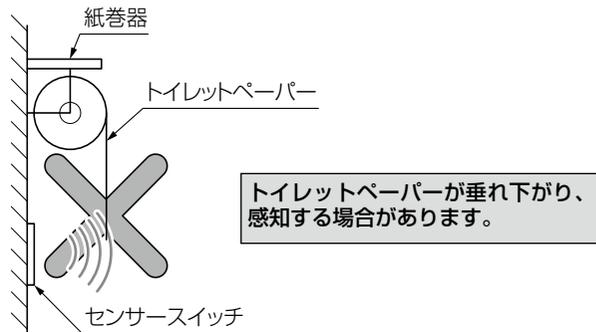
取り付け前に (つづき)

この商品は、自動フラッシュバルブ（別売）、クイックタンク（別売）と組み合わせて使用します。自動フラッシュバルブ、リモコン便器洗浄ユニット(CWA-277型、CWA-278型)の施工説明書と合わせてご覧ください。

2. 取り付け条件の確認

- 下図の場合はセンサースイッチを取り付けできませんので、事前にご確認ください。

紙巻器がセンサースイッチの上方にある場合



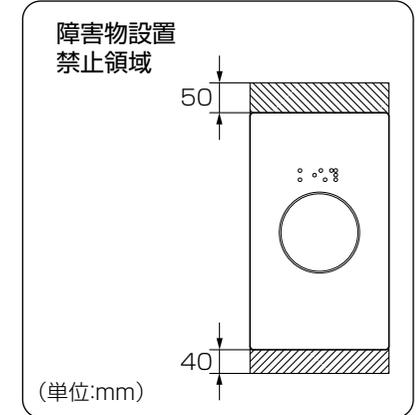
※センサーの感知距離は約60mmです。便器と壁との距離が近い場合、便器へのアプローチや着座等の動作により誤感知することがあります。

- 1台の自動フラッシュバルブ本体に対し、操作部は2台まで接続できます。(無線タイプと有線タイプの併設はできません)
有線タイプを併設する場合、併設用ケーブル(A-10473、別売)を使用してください。
- 自動フラッシュバルブ本体と操作部の接続コードは付属の中継ケーブルをご使用ください。また、誤作動する恐れがありますので中継ケーブルの延長は行わないでください。
- パーティション壁の場合は、パーティション壁の中に中継ケーブルとコネクタが通せることを事前に確認してください。

- 湿式工法の場合、現場手配の電線管、電線管コネクタ、スイッチボックスは必ず以下のものをご使用ください。

電線管	合成樹脂製可とう電線管 (JIS C8411 呼び16)
電線管コネクタ	合成樹脂製可とう電線管用付属品 (JIS C8412 呼び16)
スイッチボックス	JIS C 8340 1個用(カバーなし)スイッチボックス

- 施工およびメンテナンスのため、スイッチ上部および下部(右図)に障害物設置禁止領域を確保してください。
- 同一壁面にセンサースイッチと擬音装置との併設はできません。(擬音装置操作時の腕に反応して便器洗浄する場合があります。)



3. センサーについて

- 蛍光灯や太陽光などがセンサーに直接入らないように施工してください。
- 施工の際にセンサー表面を傷つけないよう十分ご注意ください。
- センサー窓に傷や汚れを付けたり、目隠しをしたりしないでください。誤感知や感知しないことがあります。
- インバータ照明や赤外線を用いた他の機器により誤作動することがあります。

4. その他

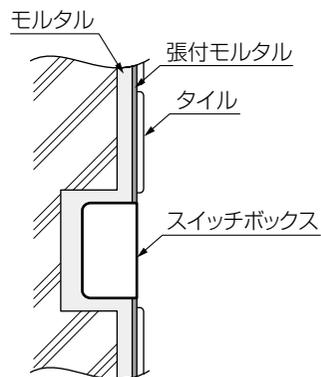
- 電気工事は、工程を十分打ち合わせた上で、行ってください。

施工方法(つづき)

有線タイプ湿式工法の場合(つづき)

2 壁の仕上げ

- 1 スイッチボックスの周囲をモルタルで埋め戻します。
スイッチボックスはタイル張付面より出ないように埋め戻してください。
- 2 下地壁にモルタルを下塗りします。
- 3 タイルを張付モルタルで張り付けます。



注意

- タイルの水洗いはこの状態で行ってください。
- 酸洗いは器具を傷めますので行わないでください。

3 バックハンガーの取り付け

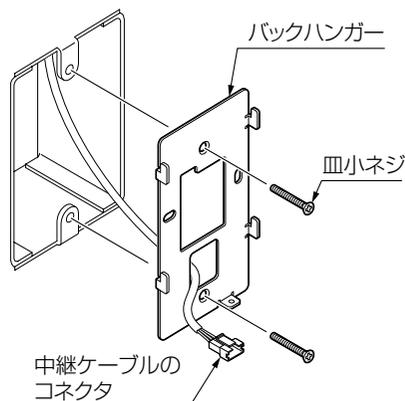
- 1 バックハンガーを皿小ネジでスイッチボックスに取り付けます。このとき、必ず中継ケーブルのコネクタをバックハンガーの穴に通してください。

注意

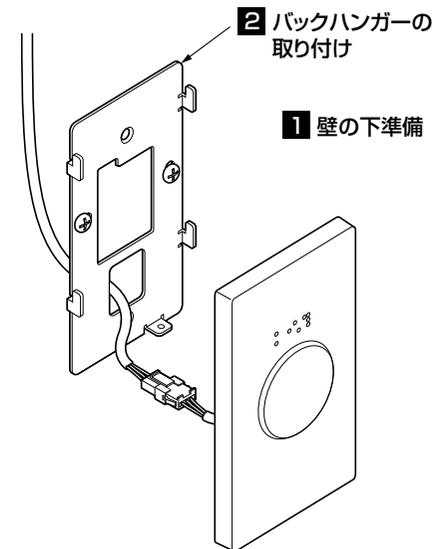
インパクトドライバーは使用しないでください。

※ 湿式工法の場合、プラスチックアンカー、木ねじは使用しません。

取り付け後、「コネクタの接続(有線タイプの場合)」へ進んでください。



有線タイプ乾式工法の場合

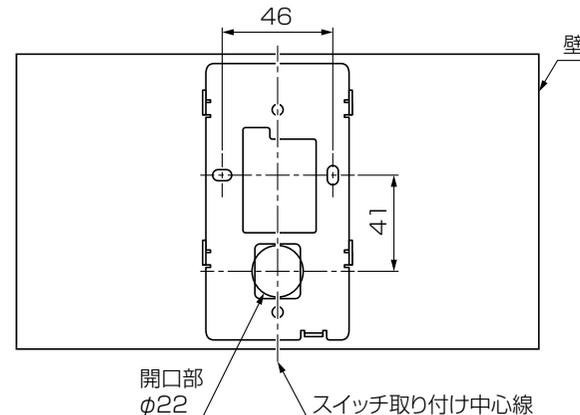


注意

漏電遮断器が切られていることを確認した上で、作業を行ってください。

1 壁の下準備

- 1 取り付け位置に、下図のような開口部を設けます。



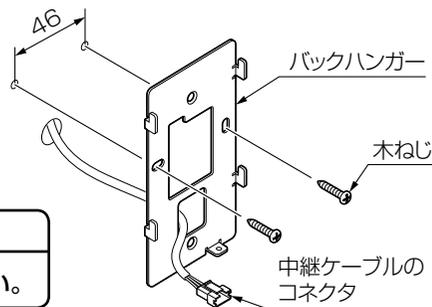
施工方法(つづき)

有線タイプ乾式工法の場合(つづき)

2 バックハンガーの取り付け

〈厚みが5mm以上の合板壁の場合〉

バックハンガーを付属の木ねじでしっかりと固定します。このとき、必ず中継ケーブルのコネクタをバックハンガーの穴に通してください。



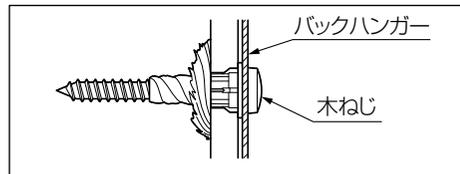
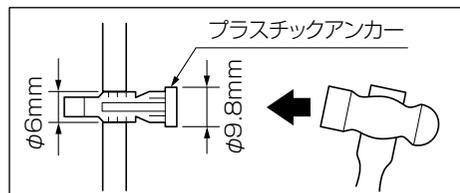
注意

インパクトドライバーは使用しないでください。

※皿小ネジ、プラスチックアンカーは使用しません。

〈厚みが5mm未満の合板壁および石膏ボード壁の場合〉

- ①直径6mmの下穴をあけます。
(石膏ボードは5mm)
- ②ハンマーなどを使って、付属のプラスチックアンカーを壁と同じ面になるまで軽く打ち込みます。
- ③バックハンガーを木ねじでしっかりと固定します。締め付けていくとはじめは固く、いったんゆるくなって再び固くなります。このとき、必ず中継ケーブルのコネクタをバックハンガーの穴に通してください。



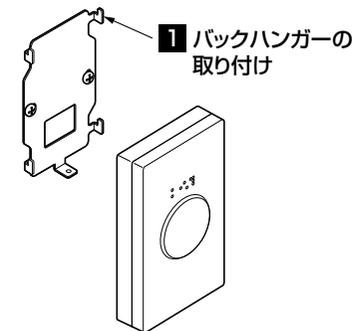
注意

インパクトドライバーは使用しないでください。

※皿小ネジは使用しません。

取り付け後、「コネクタの接続(有線タイプの場合)」へ進んでください。

無線タイプの場合

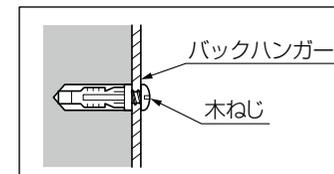
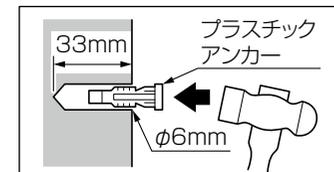
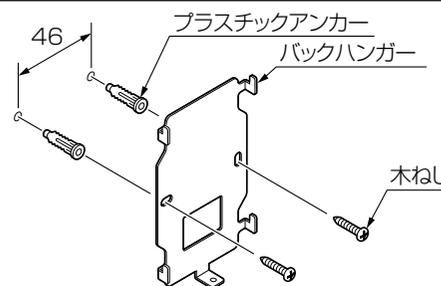


1 バックハンガーの取り付け(湿式工法の場合)

- ①プラスチックアンカー用にφ6の下穴を33mmの深さにあけます。
- ②ハンマーなどを使って、付属のプラスチックアンカーを軽く打ち込みます。
- ③バックハンガーを木ねじ(2本)でしっかりと固定します。

注意

インパクトドライバーは使用しないでください。



取り付け後、「ペアリング(組み合わせ)設定(無線タイプの場合)」へ進んでください。

1 バックハンガーの取り付け(乾式工法の場合)

左記の「**2** バックハンガーの取り付け」をご参照ください。

※無線タイプのため中継ケーブルはありません。

取り付け後、「ペアリング(組み合わせ)設定(無線タイプの場合)」へ進んでください。

施工方法(つづき)

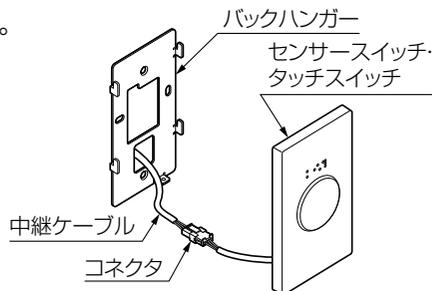
コネクタの接続 (有線タイプの場合)

1 コネクタの接続

中継ケーブルのコネクタを接続してください。

注意

- スイッチを落下させるとスイッチが破損したり、コネクタが抜ける恐れがありますので、注意してください。
- コネクタを逆方向で無理に接続しようとすると、端子が折れたり抜けたりすることがあります。取り付け方向に注意してください。

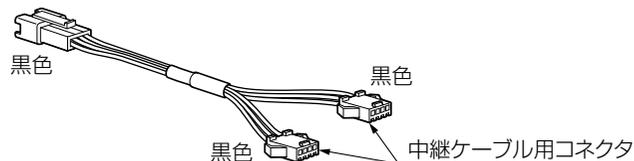


〈オプション品 (別売)〉

■ 併設用ケーブル (品番: A-10473)

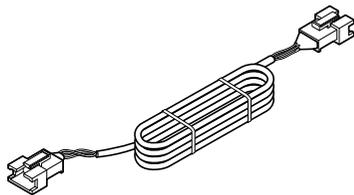
センサースイッチまたはタッチスイッチを2個まで、併設することができます。
※自動フラッシュバルブ本体のカバー内で接続できます。接続方法は、併設用ケーブルの施工説明書を参照ください。

※ 納品は、受注後4週間ほどかかります。



■ 中継ケーブル 10m (品番: A-10454-10)

センサースイッチまたはタッチスイッチと本体の距離を10mまで延長することができます。



2 コネクタの収納

接続したコネクタを開口部に戻してください。
コネクタを収納後、センサースイッチの場合は「手かざし時間の切替方法」へ進んでください。タッチスイッチの場合は、「試運転」へ進んでください。

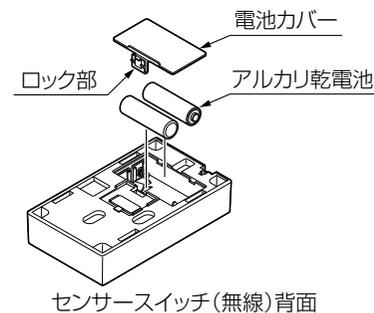
ペアリング (組み合わせ) 設定 (無線タイプの場合)

1 スイッチ側の準備

〈センサースイッチ (無線) の場合〉

背面のカバーを外し、単3電池2本を取り付けます。

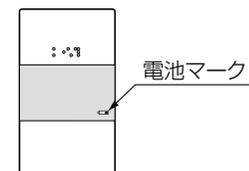
- ①センサースイッチ (無線) の背面にある電池カバーを外し、同梱されている乾電池 (1.5V アルカリ単3電池、2本) を取り付けてください。
※電池カバーが外しにくい場合は、マイナスドライバーなどの工具でロック部を解除してください。



- ②電池カバーを元通りにはめてください。

注意

- 電池のプラスとマイナスの向きを正しく入れてください。
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使わないでください。
- アルカリ電池を使用してください。
- 電池が消耗すると、センサー窓の「電池マーク」が点灯します。新しいアルカリ電池に入れ替えてください。



参考

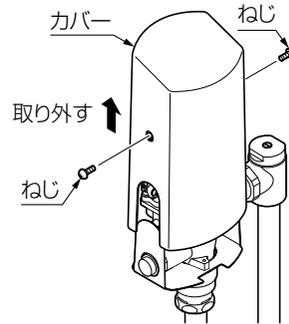
- 「電池マーク」は電池が消耗したときのみ点灯します。通常は表示されません。
- 付属の電池は施工時の動作チェック用のため、一般に市販されている電池に比べ寿命が短い場合がありますので、市販電池への入れ替えをおすすめします。

施工方法(つづき)

ペアリング (組み合わせ) 設定 (無線タイプの場合)

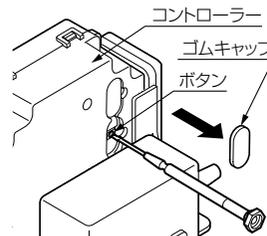
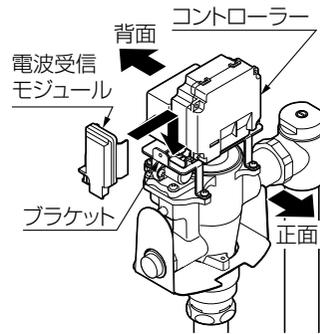
2 自動フラッシュバルブ本体側の準備

①カバーのねじ(2か所)を外し、カバーを取り外してください。



②電波受信モジュール(A-10470、別売)を取り付けます。

- 1.電波受信モジュールをコントローラーの横にはめて、下にスライドさせてください。
- 2.電波受信モジュールの爪部分を、ブラケットに引っ掛けます。
- 3.コントローラーから出ているコネクタ(白色)と電波受信モジュールのコネクタ(白色)を接続してください。
- 4.コントローラー背面の中心のゴムキャップを外してください。
- 5.電波受信モジュールとスイッチを5m以内に近づけたまま、自動フラッシュバルブ本体のコントローラー内のボタンを押してください。(正面の赤色LEDと緑色LEDが同時に20秒間点滅します)



注意

コントローラー内のボタンを離してから20秒以内に**3**ペアリング(組み合わせ)設定を実施してください。

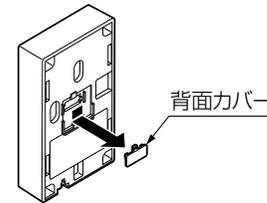
※20秒経過してしまった場合は、再度自動フラッシュバルブ本体のコントローラー内のボタンを押してください。

3 ペアリング (組み合わせ) 設定

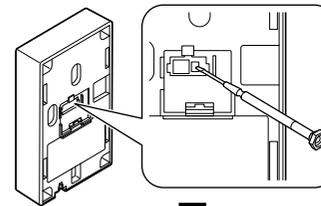
※クイックタンク式の場合は、リモコン便器洗浄ユニット(CWA-277型、CWA-278型)の施工説明書をご確認ください。

〈センサースイッチの場合〉

①背面のカバーを外してください。

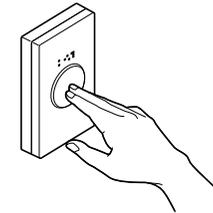


②精密ドライバー等でペアリングボタンを押してください。



〈タッチスイッチの場合〉

①【流す】ボタンを5回押してください。



ペアリング (組み合わせ) 設定完了

※自動フラッシュバルブ本体のコントローラーでは、正面の赤色LEDと緑色LEDの点滅が消えます。

注意

- スイッチのペアリング設定は、1台ずつ行ってください。ペアリング設定中に他のスイッチからの信号を検知すると、ペアリングが正常に完了しない場合があります。その際は、再度、ペアリング設定を行ってください。
- 故障などの理由により、スイッチを取り替える場合は、一度、ペアリング解除をしてください。その後、新しいスイッチでペアリング設定を行ってください。

〈参考〉ペアリング解除の方法

- 自動フラッシュバルブ本体のコントローラー内のボタンを**6秒以上**長押しすると、ペアリングが解除されます。自動フラッシュバルブ本体のコントローラーでは、正面の赤色LEDと緑色LEDが一回点滅します。

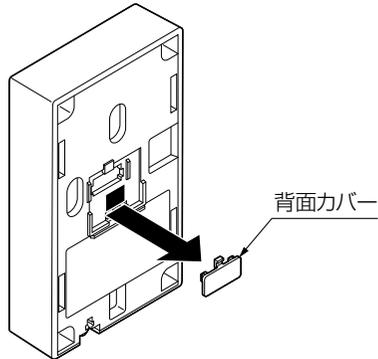
施工方法 (つづき)

手かざし時間の切替方法

センサースイッチはコネクタの接続、またはペアリング（組み合わせ）設定を行った後で手かざし感知時間の設定が可能です。

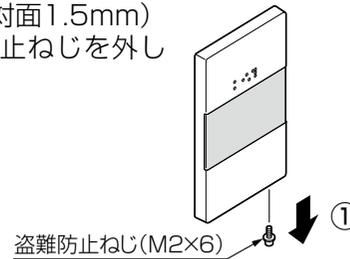
センサースイッチを取り付け後に変更する場合は、センサースイッチを取り外してから設定してください。

①背面カバーを取り外してください。

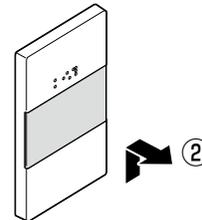


■ センサースイッチの取り外し方法 (取り付け後に変更する場合)

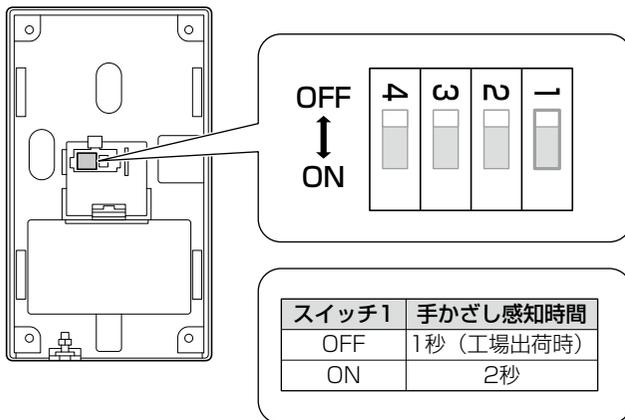
①六角キーレンチ（対面1.5mm）を使用し、盗難防止ねじを外します。



②センサースイッチを上を持ち上げた状態で手前に引き取り外します。



②スイッチ1を切替えてください。



※スイッチ2～4は変更しないでください。故障の原因になります。（出荷時設定OFF）

③切替え後、背面カバーを取り付けてください。

注意

有線タイプの場合は、コネクタを無理に引っ張らないように十分ご注意ください。

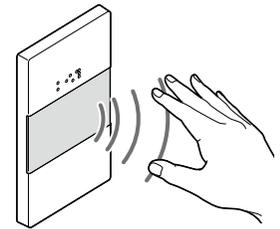
試運転

注意

必ず通水可能状態であること、漏電遮断器が入っていることを確認したうえ、自動フラッシュバルブ本体とセットで試運転を行ってください。

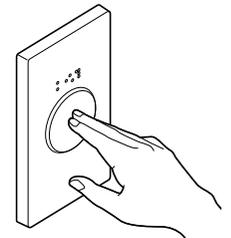
〈センサースイッチの場合〉

センサースイッチから60mm以内で約2秒以上手をかざすと、洗浄水が流れることを確認してください。



〈タッチスイッチの場合〉

タッチスイッチの【流す】ボタンを押して、洗浄水が流れることを確認してください。



[洗浄水が流れない場合]

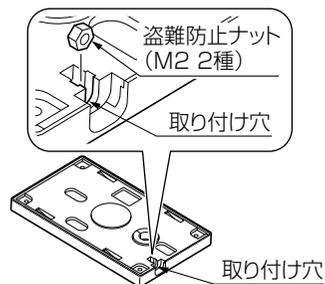
以下の可能性がありますので、ご確認ください。

- 止水栓が閉じている。
⇒ 止水栓を開けてください。
- コネクタが正しく接続されていない。
⇒ **コネクタの接続(有線タイプの場合)** の ①「コネクタの接続」を参照し、正しく接続してください。
- 電池が消耗している。
⇒ 新しい電池に入れ替えてください。
- ペアリング設定が完了していない。
⇒ **ペアリング(組み合わせ)設定(無線タイプの場合)** の ②「自動フラッシュバルブ本体側の準備」と ③「ペアリング(組み合わせ)設定」を参照し、ペアリング設定を再度行ってください。

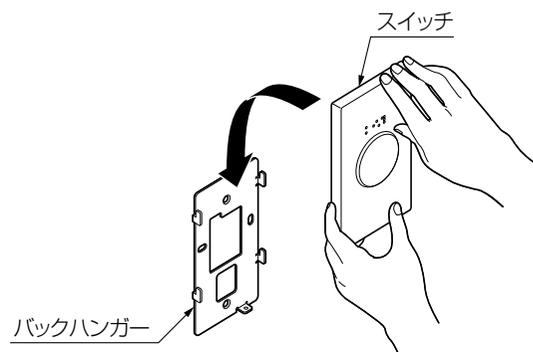
施工方法(つづき)

スイッチの取り付け

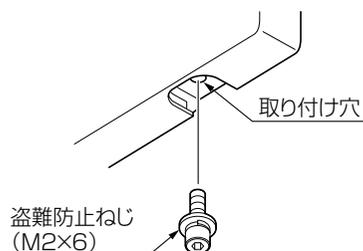
- ① スイッチ裏側の取り付け穴に接着剤を注入した後、盗難防止ナット (M2 2種) を入れて固定してください。
※接着剤で盗難防止ナットを固定しないと、盗難防止ナットが動いて外れやすくなります。



- ② スイッチをバックハンガーに収めます。
※スイッチがバックハンガーにはまるように押し下げて取り付けてください。



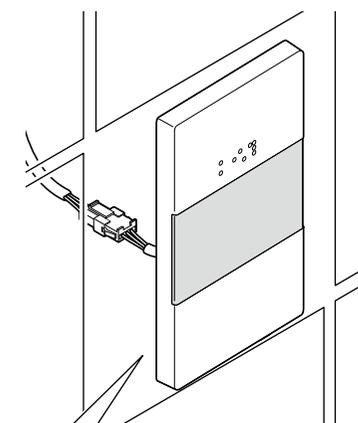
- ③ バックハンガー下部の取り付け穴に、六角キーレンチ (対面1.5mm) で盗難防止ねじ (M2×6) を締め付けて、スイッチを固定します。
※バックハンガーとスイッチ本体の取り付け穴が合っていることを確認してください。
※接着剤が完全に硬化してから、取り付けてください。



注意

盗難防止ねじを取り付けた状態でスイッチを引っ張っても外れないことを確認してください。

点検項目



ガタツキの確認

ガタツキがないか確認してください。

バックハンガーはしっかり取り付いていますか？

- ➡ 「バックハンガーの取り付け」参照
※スイッチのタイプ(有線・無線)、施工方法(湿式・乾式)により異なります。該当するタイプ、施工方法のページをご参照ください。

●スイッチはしっかり取り付いていますか？

●盗難防止ねじはゆるんでいませんか？

- ➡ 「スイッチの取り付け」参照